

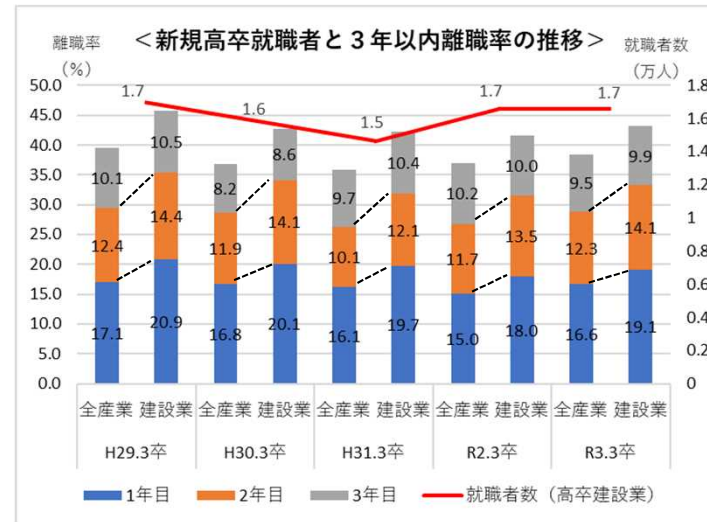
建設業若年者理解・定着促進事業（「つなぐ化」）の実施

令和7年度当初予算額 29百万円（28百万円） ※（）内は前年度当初予算額

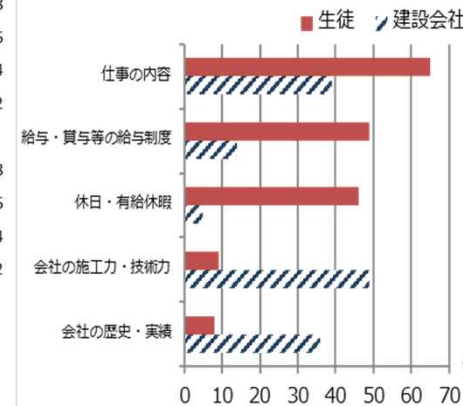
労働特会			子子特会	一般
労災	雇用	徴収	育休	会計
	○			

1 事業の目的

- 建設業においては、他産業と比べ高齢化が進行している中、新規高校卒就職者の就職後3年以内の離職率は常に全産業平均を上回っており、特に1～2年以内の離職率が高い。
- 離職の背景には、就職先を決定する過程において知りたい情報を十分に得られていないことが挙げられているため、本事業では、若年者と建設業界がつながる機会を提供することで、若年者の建設業に対する理解を深め、職場定着を促進することを目的とする。

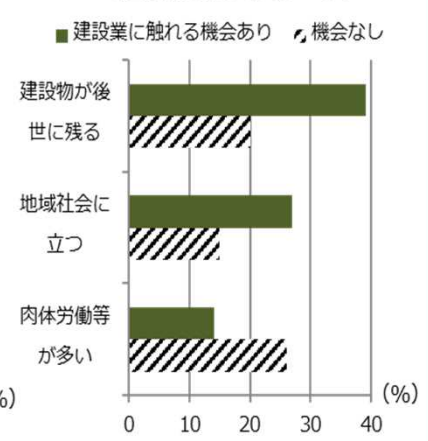


＜生徒が重要・知りたいと思った情報と会社がアピールしたい情報＞



＜国土交通政策研究所「国土交通分野の将来見通しと人材戦略に関する調査研究」（一部抜粋）＞

＜建設業に対するイメージ＞



2 事業の概要・スキーム



3 実施主体等

- 委託事業により実施
- R6 事業実績（実施回数）

実施回数 151回

（内訳）

出前授業 71回
現場見学会 61回
意見交換会 16回
インターンシップ 15回

※一度の開催で複数事業実施する場合があるため、実施回数と内訳の合計数は異なる

- KPI（事業目標）

- ・実施回数 141回以上
- ・生徒等に対する事業参加の前後のアンケート調査において、就職先として建設業に関心を持った人数の増加した割合 46%以上